

通所リハ・訪問リハ(認知症)

住み替えを機に15年ぶりに掃除を習慣化できた認知症事例

年齢:75歳 性別:女性 疾患名:脳血管性認知症

要介護1 ⇒ 更新せず

通所リハ  
訪問リハ  
併用事例

【介入までの経緯】脳梗塞を発症後、ADLは夫の助けを借りて何とかできており、入浴とリハビリテーション目的で通所リハ週2回、OTの訪問リハにより機能維持、ADL指導、健康管理、食事指導などを実施していた。病前は主婦として家事をこなしていたが、病気後は軽度認知症の影響もあり家事への関心が薄れ、掃除は全く行わなくなっていた。掃除しないことにより方法も忘れてしまっていた。長男夫婦が掃除の支援をおこなってきたが、住み替えを機に掃除ができるように支援の検討を行った。

【本人・家族の生活の目標】新しい住まいでの掃除を行い、きれいな部屋で気持ち良く過ごす。

	開始時	中間	終了(6ヶ月)
ADL・IADLの状態	<ul style="list-style-type: none"> <li>○入浴以外のADL自立。屋内歩行可能である。</li> <li>○方向転換や掃除機の利用は病後実施しておらず困難。</li> <li>○雑巾絞り困難。床拭き姿勢もとれず。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○掃除機かけは可能。かがみながらの動作困難。スイッチ位置の探索困難。</li> <li>○かけ残しあり。かけた場所とかけていない場所がわからない。</li> </ul>	<p>掃除機かけの動作が可能となり、「掃除分担表」「実行表」の活用によって毎日15分程の掃除が習慣化した。本人からは「面倒だったが、慣れた」と発言が聞かれた。テーブル拭きや棚の整頓なども習慣化した。</p>
生活行為の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○掃除機を使つての毎日の掃除を習慣化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○通所リハにて立位バランス向上練習。</li> <li>○訪問リハにて応用動作歩行練習、掃除機の準備、操作、かけ方の練習。</li> <li>○夫の協力を得て、実施時間に声掛けを行い日常での習慣化を行った。</li> <li>○使いやすいスティック式掃除機の導入。スイッチに目印を貼付。</li> </ul>	<p>【考察】 本人の「掃除の仕方が分からない」という不安に対し、OTができる範囲を決め、本人にとってやりやすい方法(工程の単純化、日常への習慣化、道具の選定、環境調整など本人に適した方法を選定)を提示し、本人、家族との話し合いを持ちながら、すべき課題を本人が明言することで強い動機づけを行えた。</p>
介入内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○掃除動作の練習を工程に分けて行う。</li> <li>○習慣化のための環境アプローチを行う。</li> </ul>		



**結果** : 掃除機かけが習慣化し、それに付随してテーブル拭きや棚の整理、花の水やりも習慣化され活動性が向上した。

**課題** : 本事例は本人が訪問介護利用を拒否されていたが、通所の作業療法士が訪問介護に同行し、本人に応じた方法を提示し、訪問介護に

つなぐことで支援頻度の向上が臨め、家族負担も軽減できた。通所リハ、訪問系サービスの連携が重要である。